



まちづくりリノベーションの実践や研究を展開しつつ、地域連携センター長として、学科横断授業「地域活動演習」を実施し、地域と大学のつながりを醸成しています。

略歴

博士（工学）／慶應義塾大学文学部 卒業（哲学科美学美術史学）、筑波大学大学院 修士課程修了（建築デザイン）、東京大学大学院 博士課程単位取得満期退学（建築学）。増田実建築研究所 所員、東京工芸大学 助手及び専任講師、プレイスメイキング研究所 特別研究員。2010年に日本工業大学建築学科 准教授に着任、2016年より現職。

所属学会

日本建築学会（住まい・まちづくり支援建築会議運営委員会、住宅計画小委員会、公共施設マネジメント小委員会、関東支部住宅問題専門研究委員会）
都市住宅学会

研究紹介

ハウジングデザインから住まい・まちへ

建築計画学の研究手法を基礎におき、また他分野の成果やアプローチを参考にしながら、集合住宅や住宅地の計画に関する研究を行っています。具体的には、居住者が集合住宅のデザインに参加するプロセス、集合住宅のコミュニティや管理、高経年集合住宅の持続性など。

また、住まいや日常生活を起点とした建築とまちのあり方を志向し、特定のエリアを対象に、

地域資源や地域の文脈を生かした居住エリアの再生、エリアリノベーションに関する、研究や地域活動を行っています。

さらに、高経年集合住宅の住戸、空き家、空き店舗、軒先、道路等の様々な空間を利用・活用するために、設計やリノベーションを実践しています。

地域・社会連携

豊島区住宅対策審議会（2011-）、埼玉県建築審査会（2020-）、埼玉県住宅懇話会（副座長 2014-15, 2019-20）、さいたま市市民活動推進委員会（委員長、2017-2022）、越谷市空家等対策協議会（会長2018-）、白岡市空家等対策協議会（2017-）、東武沿線連携勉強会（共同主催2016-）、そうかリノベーションまちづくり構想検討委員会（2015-16）、春日部市文化財保存活用地域計画協議会（副会長2021-）、春日部市開発審査会（2012-2023）、春日部市神明貝塚指導者会（2020）、春日部市公共施設マネジメント基本計画策定審議会（2015-16）、幸手市総合計画審議会（2022-23）、幸手市都市計画マスタープラン市民検討会議（委員長2020-21）、杉戸町空家対策協議会（2023-）、杉戸町都市計画審議会（会長2022-）、杉戸町総合振興審議会委員（2020-）、杉戸町新庁舎整備審議会（会長2022-23）、杉戸町都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定検討委員会（委員長2020-21）、杉戸町東武動物公園駅東口通り線周辺まちづくり構想推進委員会（2020-21）、宮代町須賀小学校地域拠点検討委員会（2022-23）、宮代町公共施設マネジメント会議（委員長2021-）、宮代町総合計画審議会（委員長2019-20）、他

共同研究／発表論文

「高経年マンションの持続的なあり方 パサディナハイツの50年」日本建築学会大会梗概集、2024年8月／分担執筆「超高層住宅の特徴と暮らし—台北市・新北市・桃園市の住宅政策の視点から」超高層住宅の未来絵図、技報堂出版、2023／共著「台北における超高層住宅に関する研究」日本建築学会計画系論文集、2023年3月、共著（春日部市都市計画課所管 春日部駅東口エリア関連の報告書）春日部市包括的連携推進事業2021年3月、2020年3月、2019年3月、2018年3月／共著「老朽化した集合住宅団地における遊休空間の活用による地域活動の促進台湾・南機場第二期団地のコミュニティ組織「ナンキバンバン(南機拌飯)」を対象として」日本建築学会計画系論文集、2020年11月／共著「住宅団地再生における地域と大学の連携に関する研究 その1～3」日本建築学会大会梗概集、2018年7月／共著「マンション修繕等の経験と老朽化や耐震性の認識が建替え意向に与える影響高経年マンション居住者に対する建替え意向調査 その1」日本建築学会計画系論文集、2017年4月／他